

吉林省檔案館

廣西師範大學出版社 編

日本關東憲兵隊報告集(第四輯) 6

廣西師範大學出版社

· 桂林 ·

目 录

1	支那驻屯宪兵队邮检观察状况报告(昭和十六年五月二十六日)	〇〇一
2	支那驻屯宪兵队通信检阅月报(昭和十六年六月十六日)	〇六六
附:	残件 1	一八二
	残件 2	二〇九
	残件 3	二三九
3	中支那派遣宪兵队郵便电报检阅月报(昭和十六年八月十四日)	三五一
4	中支那派遣宪兵队郵便电报检阅月报(昭和十六年十月)	三八五
附:	残件	四三五

支那高第一九一號

昭和十五年度普通郵便ノ郵便ヲ通シ觀察
ナル諸狀況ニ關スル件報告「通牒」

口燃木

昭和十六年五月二十六日

支那駐屯憲兵隊司令官 矢野 晉三郎

口燃木
原守

首題ノ件別冊ノ通リ報告「通牒」ス

發送先

甲、乙、仁、戊各集司
憲司、憲校、關憲司、朝憲司、中憲司、内地各隊長
寫、錄下各隊（分遣隊迄）



服務參考資料

昭和十五年度郵檢ヲ通シ觀察セル諸狀況

昭和十六年五月
支那駐屯憲兵隊司令部

目次

一、一般狀況

二、普通郵便ノ狀況

イ、前年度トノ比較

ロ、抗日通信ニ對スル觀察

ハ、親日通信ニ對スル觀察

ニ、思想上有害通信ニ對スル觀察

ホ、防諜上有害通信ニ對スル觀察

ヘ、禁制品及郵便法違反ニ對スル觀察

三、軍事郵便ノ狀況

イ、前年度トノ比較

ロ、軍機事項通信ニ對スル觀察

ハ、銃後民心ニ惡影響ヲ及ス通信ニ對スル觀察

附 表

一 一 二 二 三 三 三 四 四 五

附 錄

第一	普通郵便檢閱統計表	八
第二	軍事郵便檢閱統計表	九
第三	普通郵便處置件數月別統計表	一〇
第四	軍事郵便處置件數月別統計表	一一
第五	普通郵便處置區分統計表	一二
一	支那人ノ抗日通信	一三
二	支那人ノ見タル聖戰ノ認識	一四
三	支那人ノ見タル皇軍	一五
四	作戰ノ陰ニ潛ム非行	一六
一	軍人ノ言ヘルモノ	一六
二	支那人ノ言ヘルモノ	一七
五	事變ニ對スル防諜觀念	一八
一	軍人軍屬ノ通信	一八

目 邦人ノ通信

六 皇軍將兵ノ思想窺知資料

目 反軍反戰的ナルモノ

目 軍隊生活嫌忌

目 歸還希望

目 軍紀弛緩

目 上官誹謗

目 給與ニ對スル不平

目 戰爭悲慘

目 其他

七 邦人ノ事變ニ對スル心構

目 聖戰不認識

目 皇軍誹謗

目 召集、徵集忌避

一九

二〇

二〇

二一

二二

二四

二五

二五

二六

二七

二八

二八

二八

二九

- (一) 歸還召集解除者ノ言
- (二) 出征留守宅ノ歸還要望
- (三) 統制經濟ニ對スル不滿
- (四) 時局論難
- (五) 邦人ノ現地官吏ニ對スル利權獲得策動
- (六) 利得策動
- (七) 造言蜚語

三〇
三〇
三一
三二
三二
三三
三三

二、一般狀況

〔昭和十五年度憲兵ノ實施セル郵便檢閲ニ於テ押收、返還、削除、抹消、偵諜利用等處置セルモノノ總數三八、三〇六件（普通郵便三二、二一二件、軍事郵便六、〇九四件）ニシテ之ヲ前年度ノ五九七八〇件ニ比スレハ約三割四分減少セリ

〔普通郵便中華人ノ通信ヲ通シ觀察スルニ敵地區住民ハ長期抗戰ニ依ル一般物資ノ缺乏、物價ノ昂騰或ハ我空爆ニ依ル日常生活ノ不安脅威ニモ拘ラス敵軍民ノ一部ニ在リテハ今尙最後ノ勝利ヲ盲信シ抗戰意識ノ極メテ旺盛ナルモノアルヲ看取セラル

〔邦人通信中防諜上有害ナルモノハ其數ヲ減少セルカ思想上有害ナルモノハ却テ増加セリ

而テ現地邦人ニシテ軍ヲ誹謗シ或ハ治安ノ不良等ヲ誇大通信スルモノ、内地邦人エシテ國內物資ノ窮乏或ハ日常生活ノ困窮ヲ綴スルモノ就中兵役忌避的傾向ノ窺知サルモノ等時局下國民トシテ

ノ自覺ヲ缺キ聖戰ノ遂行ニ障礙ヲ與フル如キ分子ノ少カラサルハ遺憾トスルトコロナリ

四軍人軍屬ニシテ郵檢回避ノ目的ヲ以テ普通郵便ヲ利用スルモノ一時其數ヲ減少シタルモ最近再ヒ漸増ノ傾向アリ

(四) 主要ナル事例附錄記載ノ如シ

二、普通郵便ノ狀況

イ、前年度トノ比較

區 別	前 年 度	本 年 度	比 較
抗 日 通 信	一、九一三	六、七〇九	△ 五、二〇四
親 日 通 信	八四八	六五一	△ 一九七
作 戰 資 料	八、〇八四	九、九一五	一、八三一
通信上有害通信	六八四	一、〇七二	三、八八
防諜上有害通信	四八一	三、五三八	△ 一、二七三

禁制品及郵便法違反			備考
計	四八四二八	三二二一二	△一六二一六
	二〇九八七	八七三七	△一二二五〇
	一、一〇一	一、五九〇	四八九

備考 △ハ減少ヲ示ス

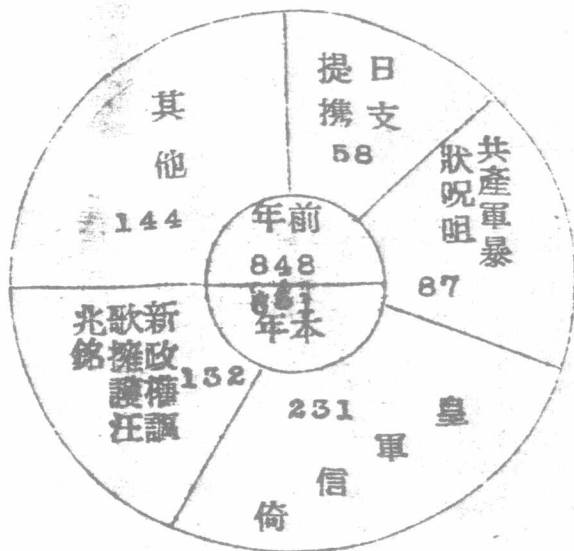
コ、抗日通信ニ對スル觀察



抗日通信ハ前年度ニ比シ約四割減少セ
ルカ其ノ内容上圖ノ如ク重慶政府ノ逆
宣傳ヲ盲信シテ最後ノ勝利ヲ夢ミ或ハ
抗戰意識ヲ昂揚ニ努メ或ハ和平反對汪
政權反對等ヲ強調スル等特ニ敵地區内
軍民ノ一部ニ對シテ依然トシテ抗日意識
ノ熾烈ナルモノアルヲ窮知セラル
而シテ抗日通信減少ノ原因ハ敵地區ヨ
リ我占領地區ヘノ通信數全般ニ減少セ
ル爲ニ因ルモノト認メラル

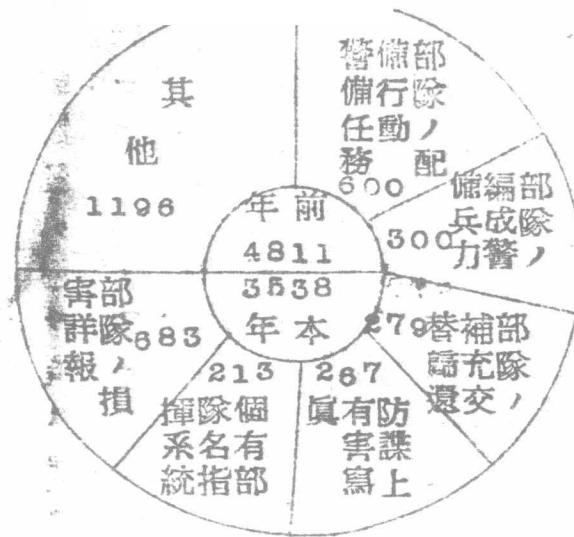
二

ハ、親日通信ニ對スル觀察



親日通信ハ前年（八四八）ニ比シ約二割四分減少セリ
 蓋シ從來親日通信ノ多寡ハ皇軍新占據地ノ増大ニ比例スルノ傾向アリタルモ皇軍駐留ノ長キニ及ビ皇軍ノ恩惠ニ麻痺シ量ニ於テ漸減ノ傾向ニアルモト認メラル

ホ、邦人ノ防諜上有害通信ニ對スル觀察



防諜上有害通信ハ前年（四八一一件）ニ比シ約二割六分減少セルカ其内容上圖ノ如ク部隊ノ配備行動任務ヲ記載セル通信最多數ニシテ部隊ノ編成裝備兵力、歸還ニ關スル通信之ニ次キ、邦人ノ防諜思想ハ更ニ一段ノ向上ヲ圖ルノ要アリ

ヘ、禁制品及郵便法違反ニ對スル觀察

禁制品及郵便法違反件數ハ本年一五九〇件ニシテ前年一一〇一件ニ比シテ約四割増加セリ

之等ノ中華人ノ法幣封入（舊通貨取締辦法違反）郵送大部分ヲ占
メ、邦人ニ在リテハ通貨ノ現金封入及内地ニ於テ缺乏ト見ラレル
煙草、燐寸等ノ禁制品ヲ小包トシテ郵送セントスルモノ尠シトセ
ス、軍人軍屬ニ在リテハ普通郵便ヲ利用官給品ヲ郵送セントスル
モノ最モ多ク彈藥或ハ戰利品ト思ハルモノノ郵送之ニ次ク
危險性發火性ヲ有スル物品及官給品ノ郵送ニ就テハ部隊側ニ於テ
嚴ニ取締ルノ要アリ

三、軍事郵便ノ狀況

、前年度トノ比較

種 別	前 年 度	本 年 度	比 較
軍 機 事 項	七、二四〇	三、三五八	△三、八八二
銃後民心ニ惡影響ヲ及スモノ	一、九七五	一、六〇七	△三六八
其 他	九六三	五九四	△三六九
禁制品及郵便法違反	一、一二九	五三五	△五九四

計

一、三〇七

六〇九四

△五二一三

備考 △ハ減少ヲ示ス

口、軍機事項通信ニ對スル觀察

軍機事項通信ハ左表ノ如ク部隊ノ配備行動任務ノ通信ヲ最多トシ
交響歸還ニ關スルモノ及防諜上有害寫眞封入之ニ次キ依然トシテ
此ノ種通信ハ減少セサル狀況ニシテ部隊ニ於ケル防諜教育ハ更ニ
徹底ノ要アリ

昭和十五年度ニ於ケル軍機事項記載月別統計表

種別	種別	種別
部隊ノ配備行動任務	部隊ノ編成裝備兵力	種別
37	70	月一
40	110	月二
29	68	月三
24	122	月四
40	57	月五
15	60	月六
15	60	月七
25	56	月八
29	105	月九
18	49	月一〇
3	66	月一二
10	105	月三
283	928	計

其 他	部隊ノ入營狀況	私製暗號ヲ以テセル 通信	防諜上有害寫眞封入	陣中日誌編成表業務 分擔表封入	作戰企圖	戰鬥詳報戰鬥要圖	部隊ノ損害詳報	部隊ノ補充交替歸還 ニ關スルモノ	個有部隊名、指揮員 屬系統
45			27	3		11	9	71	26
41			38	1		5	5	45	3
0			77			1	14	46	26
19			50		38	6		58	7
23			12			27	5	64	13
29		7	69				10	59	30
23		1	37	4	25			73	11
67			74		3	4		54	23
16		1	77	1			45	51	24
41			66				21	29	8
55	9		42		4		17	42	3
39	46	2	86		2		12	66	
397	55	11	653	9	72	54	138	658	173